# 鹿児島市主田橋・向陽橋完成式

## 地域の発展に貢献を

### 住民ら渡り初めで祝う

鹿児島市内を流れる脇田川の河川改修事業と宇宿中間地区土地区画整理事業に伴う橋梁整備として進めてきた主田橋と向陽橋がこのほど完成し、27日、現地で合同完成式典が行われ、市関係者、施工業者、地域住民ら多数が出席して二つの橋の完成を祝った。

合同式典に先立ち、それぞれの橋で安全祈願祭が執り行われ、赤崎義則市長や上門秀彦市議会議長、施工関係者の代表らが玉串を捧げて完成を祝うと共に、歩行者や車両等の安全を祈願。引き続いて、赤崎市長らがテープカットを行ったほか、主田橋では宇宿幼稚園児と、向陽橋ではさくら幼稚園児と一緒にくす玉を割り、渡り初めを行った。

合同式典では、赤崎市長が「地域の発展に大きく貢献するとともに、利便性の向上を通じて地域に末永く親しまれ愛されることを願っています」と挨拶した後、設計・施工に携わった業者に感謝状が贈呈された。

感謝状の贈呈（上）やくす玉を割って完成を祝った式典
＝鹿児島市の現地で

主田橋は、脇田地区と桜ケ丘地区を結ぶ重要な幹線である市道宇宿広木線上に位置し、工事費約1億7000万円をかけて平成13年11月から整備してきた。橋長18・58㍍、幅員11㍍（車道7m、歩道2m×2）で、下部工は逆T式橋台2基、上部工はプレテンション方式PC単純中空床版橋となる。設計は㈱建設技術コンサルタンツ、施工は㈱森山肇組。

向陽橋は、宇宿地区と広木地区を結ぶ市道宇宿広木線上に位置し、新設橋として平成12年10月から工事費約1億8000万円をかけて整備。橋長20・50㍍、幅員16㍍（車道9m、歩道3・5m×2）で、下部工は逆T式橋台2基、上部工はプレテンション方式PC単純桁橋となる。設計は㈱国土技術コンサルタンツ、施工は㈱森山㈲組、日研高圧キドウ㈱。

なお、施行面積約78・8㌶を平成3年から19年3月31日の事業期間で整備を進めている宇宿中間地区土地区画整理事業の進捗率は75・7％。河口から県道永吉入佐鹿児島線までの4770㍍（うち区画整理区域3290m）において平成3年から整備を進めている都市基盤河川脇田川改修事業は、進捗率56％（区画整理区域内）。全体で28橋を整備する橋梁については、今回の2橋が9、10番目となる。

# 電子入札コアシステム導入メリット

## 新年度に小型システム対応

JACIC

桃坂　繁氏

電子入札コアシステム開発コンソーシアムの第8回特別会員会議がこのほど開かれ、九州各県、政令指定都市、鹿児島市の職員らが参加した。

電子入札コアシステムについては、147の国や地方の発注機関が参加。

電子入札コアシステム導入促進連絡会議はこのほど開かれ、㈶日本建設情報総合センター（JACIC）の桃坂繁九州センター長が、全国の多数の公共発注機関が採用を予定している同システムの導入メリットなどについて紹介した。概要は次の通り。

電子入札コアシステムは、国土交通省の9地方整備局（北海道含む）、300工事事務所での利用実績を有する。

なわち、発注者・受注者から寄せられた様々な意見を取り入れた実践的なシステムであり、共同利用等、大規模なシステムに対応するようになっており、コスト縮減の観点から各市町村の共同利用も可能である。

また、法的根拠の明確な複数の認証局から選択が可能である。現在、国交省版の認証局は1社しかないが、新年度から国交省が採用する電子入札コアシステムは8社の認証局から選べるようになり、受注者は複数の認証局から、性能・価格サービス（サポート含む）の比較検討ができる。

電子入札のシステム開発においては、特定ベンダーの技術に偏らない中立的な仕様になっている。このコンソーシアムには、NTT、NEC等々を含め、世界に通用するITベンダー10社が関わっており、どのベンダーでもシステム構築業務を行うことが可能である。

セキュリティーについては、安全性が最高のシステムである。発注者も開札時間を過ぎるまで入札書の封を開けられず、公正に管理される。また、コアシステムは、16年度に国際標準仕様に準拠する。

# かしこい返済計画を

## 住宅公開講座「すまい・る大学」開講

県住宅・建築総合センターと住宅金融公庫南九州支店は27日、鹿児島市の県住宅供給公社ビルで一般市民50人を対象にした住宅公開講座「すまい・る大学」を開き、住宅ローンの資金計画、安全な返済方法などを講義した。

住宅センターの松井謙太郎理事長の開講挨拶に続き、公庫の西川貴之副調査役が「住宅ローンのかしこい利用法」と題して、じょうずな資金計画・返済計画のポイントを紹介した。そして、諸経費を含む総費用の確認、2－3割の自己資金、毎月払いの基本、完済時年齢などに考慮してほしいなどと説明。

低金利時代のローン活用は、公庫等の固定金利と民間の変動金利を合わせた資金計画がベターではないかと語った。

このほか、県バリアフリー研究会の大西芳輝会長が「住まいとバリアフリー」、県警察本部の岩屋世志男課長補佐が「住まいと防犯」について要点を解説した。

住宅ローンに関心を持つ市民が受講した公開講座
＝鹿児島市の県住宅供給公社ビルで

# かごしまみどりの基金が寄贈

## 県民交流センター　クスの木を植樹

県民の緑化意識を高めようと寄贈されたクスの木
＝鹿児島市のかごしま県民交流センターで

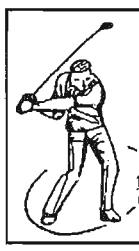
㈶かごしまみどりの基金は26日、㈱NTTドコモ九州鹿児島支店の指定寄付金と併せ、鹿児島市に建設中のかごしま県民交流センター敷地内に同センター完成記念としてクスの木寄付植樹を行った。

植樹式では、初めに小川浩三㈱NTTドコモ九州鹿児島支店長が「弊社では利益を地域に還元する一環で、植樹活動等を実施している。立派な木が生い茂り、県民の皆様の植樹に対する意欲につながれば幸い」と挨拶。次いで、目録贈呈の代わりに、上村行生㈶かごしまみどりの基金常務理事と宮路局長が「県民交流センター整備事務局長が握手を交わし、宮路局長が「いただいた県木・クスの木がセンターに訪れる県民に安らぎを与え、緑化の推進及び環境保護の意識向上に役立つよう、大切に育てて参りたい」と感謝の言葉を述べた。

この後は、丸山重之県造園建設業協会長がクスの特徴、植栽要領、管理方法を説明。最後に上村常務理事、小川支店長、宮路局長、丸山会長がスコップを持ち、記念植樹を行った。

クスの木は、樹齢約60年、樹高12㍍、幹回りが1・3～1・5㍍。場所は鹿児島市山下町のかごしま県民交流センター敷地内で、県歴史資料センター黎明館側の交差点寄

お手軽で便利な
購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ



ゴルフ会員権と株券・即現金買取り
相場80％　融資OK!!
商業手形割引
貸金業登録県知第(5)00077号
(社) 鹿児島県貸金業会員85号
きりハウス㈲
鹿児島市下荒田4-8-16 ☎(099)252-5238